

「若い皆さんに伝えたいこと」

～先輩の独り言～

28期 三宅 正輝

0 はじめに
6月17日松延会長、会員厚生の笠原先生をはじめ、関係各位のご厚意により、学生交流会で講演をさせていただきました。有難うございました。
翌18日に広報担当の遠山先生より原稿依頼をいただきました。その条件がなんと約8,300文字で、締切まで一週間！これは講演の内容を一部加筆、訂正して「そのままLiveで載せる」ということだろーと勝手に判断させていただきました。事前に講演の要旨を約5,300文字の文章にして当日皆さんにお配りしていただきましたので、これをもとに原稿用紙を埋めていくことにしました。そのため少し手前味噌になっていたり、くだけた調子になっていることをあらかじめご容赦下さい。

こんにちは。28期生の三宅正輝です。(今年卒業30周年を迎えます。)
今日は、よろしくお願ひします。
よかったら、皆さん、私に質問をして下さい。私の方からも質問をさせていただきます。
まず、5分差し上げます。以下の文章にちょっと目を通して下さい。

まず、自己紹介をさせていただきます。

三宅 正輝 (みやけ まさてる)
生年月日 昭和29年10月26日
萩原小学校・穴生中学校(八幡西区)卒業
東筑高校卒業(天文部・部長)(71期会会長)
九州歯科大学 歯学部卒業(バレ一部・3年生
～6年卒業まで学年総代・28期会会長)
産業医科大学 歯科口腔外科学教室にて研鑽
昭和59年 三宅歯科医院開業
平成7年 医療法人 星輝会 三宅歯科医院
設立(福岡県中間市) 現在にいたる

モットー：

「お元気ですか？あなたの歯と歯ぐき」

所属学会

日本顎咬合学会（かみ合わせ認定医）・日本歯周病学会・日本口腔インプラント学会・日本臨床歯周病学会・日本口腔検査学会 他

所属勉強会

日本糖尿病協会 歯科医師登録医・JACD（包括歯科診療研究会）元総務・KIG（北九州インプラント研究会）元会長・ODRG（遠賀歯科臨床研究会）元幹事長・九州歯科大学 臨床歯周病研究会 会員・No.1 Dentist Club Japan, Fellowship 他

研究分野・専門分野

お口の健康と全身との関係・有病者の歯科治療を医科の知識を背景に実践する・医科 歯科との連携、協力
口腔外科・手術
インプラント治療・歯周病治療・顎関節症治療・審美歯科治療・予防歯科・レーザーを使った治療など

Eメール：miyakem@cf.mbn.or.jp

URL <http://miyakeshika.jp>

（小冊子平成22年2月14日第2版発行より転載）

同期の打和先生から、講演依頼（というより、半ば強制的命令）を受けて、「あ、いいよ。」と、二つ返事で引き受けて、原案はすぐに出来ました。しかし講演日が近づき、さて、まとめようとするとな筆がなかなか先に進みませんでした。55歳を迎えた今、自分が皆さんに何を伝えられるだろうか……。いろいろ考えあぐねてしまいました。その結果、私の今までの人生の中で、いくつかの出来事の中から思いつくままにピックアップしてお話をしようと思いました。今日のお話が皆さんの、何かのお役に立てば幸い

です。

1 森永ミルク中毒

若い皆さんは、ご存じないかもしれませんが、昭和29～30年代に、粉ミルクの中に混入されていた「ヒ素」のせいで多くの赤ちゃんが、亡くなったり、助かっていても重い脳神経障害が残ったという悲惨な事件です。私もその患者で、かなりの重症であつたらしく、面会に来て下さった方々は「可哀そうやね。あの様子やったら、正輝ちゃんはどう助からんね。」と口ぐちに、言っておられたそうです。幸い私は、お医者さんと、両親の、回復にかけ必死の思いのおかげで、生後半目目に発症したものの2年半の闘病生活の末、後遺症も残らず完治することができました。亡くなつた父は、私の幼少のころ「大きくなつたらお医者さんになつて、困っている人に、命を助けてもらつた恩返しをするように。」と口癖のように言っておりました。



2 東筑高校 天文部

それこそ、天文漬けの毎日でした。暇さえあれば、望遠鏡で夜空を眺めていました。

あるとき、昼休み以外1時間目から6時間目まで授業中寝ていても、「いいけん、寝せとけ、昨晚も徹夜で天体観測しとつたんやろ。」学校の先生も公認。で、お言葉に甘えて「グー、グー。」しかも最前列の先生の目の前の席で...。でたらめちゃ、でたらめだけど、古き良きおおらかな時代でした。いい、恩師と友達とクラブ仲間巡り合えました。



3 九州歯科大学
 # 3 - 1 バレー部
 入学後、何のクラブに入るかなと迷った。練習までおこなった。ジュリエットは出た。朝、目が覚めた。昨日先輩の名が「体験入部！！」と先輩。え？と私。それ。今では禁止されている。そう。先輩へ。おかげでたいがいの飲み助になりました。



写真3 九州歯科大学歯学部
 バレー学科宴会専攻

3 - 2 社会人としてのマナーを習った
特に永江先生(24期)からは、よく可愛がって
いただきました。歯科医学生は、卒業したらも
う社会人としての付き合いが始まっている。お前には、
社会人としての付き合い方を今から教えてやる。」
というところで、礼儀、作法、口の聞き方、お酒の
いただき方など、1から10まで実習込みで!? 教
えて頂きました。「酒は飲んでも、酒に飲まれるな」
も学びました。が乱れ、先輩に敬意の念が少ない人も
言葉づかいが乱れ、先輩に敬意の念が少ない人も
を、最近ややもすれば見かけます。「親しき仲にも
礼儀あり」これはとっても大切なことだと思いま
す。頭の隅に、常に置いていて下さい。
少し古めかしいと思うかも知れませんが、開業
して一城の主になり、歯科医師会や勉強会な
どで少し役付きになった今では、その時の教えが
大変役に立っています。感謝しています。

3 - 3 総代
学1から卒業までの4年間は総代を務めました。
学年試験直前には各教授に質問に行き、教授の顔
色が変わった質問は出題されるなとこっちで予想
し、教室の黒板に書き出すのも役目の一つでした。
病理や組織や解剖を始めとして、バレーの練習
で疲れ眠い目をこすりながらも予習復習をして
いた科目もありました。臨床を始めてから基礎科
目の勉強が大いに役立ちました。
学1のある時、疑問点を持って質問に伺ったと
ころ、その先生曰く「お前の言うこと、質問する
ことは難しすぎて、よーわからん。」と言われ、「そ
うか、それぞれ専門があって大学の先生だからと
なって、全部に詳しいわけじゃないんだ。それな
ら自分で調べよう」といった出来事がありました。
それ以来、「大学とは人から習う所ではなく、自分
で勉強する所」と思っていましたので、2週間や1
ヶ月の単位で自分なりのテーマを決め、最新の論
文をできるだけ多く集めて勉強するという方法を
とっていました。今はインターネットがあつてと
ても便利ですが、その当時は複数の論文から孫引
きをし、「中央医学界雑誌」「Index Medicus」
などを図書館で必死に調べたものでした。
浦郷先生、船越先生にも可愛がっていただき、
あつては、ついに夢の中にまでプレパラートが
出てきたり、生理診断をしたことも...。(そのときは、

確 か 扁 平 上 皮 ガ ン で し た 。)

「三宅さんはいつ勉強しよるんですか？この間もその前も一緒に飲みに行きましたよね。でも、図書館のどの本を見ても、貸出カードにあれにもこれにも三宅、三宅、三宅と書かれていましたよ。」と、ある時、後輩に言われたのも良い思い出です。

出来るだけ多くの知識の引き出しを持って下さい。教科書通りの患者さんはほとんどいませんが、苦労して得た知識はきっと役に立ちます。

これからますます増えるであろう有病者、全身の一分科として顎口腔領域をとらえたいと思い、卒業当時6~7の教室から残れとお誘いをいただき、大変ありがたかったのですが、「甘えが出ないよう科を外で」ということで、産業医科大学歯科口腔外科を選び、医者のような歯医者、の生活をしばらく送りました。

3 - 4 マネージャー

私はマネージャーを務めました。私の学生当時、デント前には、OBの先生方を一軒一軒、お伺いして寄付をお願いしていました。我々はその時の恩返しの気持ちで今、後輩の諸君に寄付をしていくのだということを経験の諸君は忘れないで下さい。

試合や遠征のご連絡を差し上げた時、私のような学生にも丁寧に対応していただいたあるOBの奥様。「君がマネージャーの三宅君かね。連絡をいつももらってありがとうね！」と言って下さったOBの一言が嬉しく、今でも忘れられません。

またシーズンオフに自主トレで毎日15km走ったことも... ..

デント No1 チームだけの特権。懇親会のひな壇上で優勝カップで飲んだビール、あれはうまかったなあ！！

3 - 5 現役の諸君に

朝は早朝野球、昼は卓球、夕方はバレー、夜は飲み事や合コンと、それこそ『九州歯科大学歯学部バレー学科宴会専攻』の学生時代でした。その中で自分なりに目標、計画を立て、忙しいながらも充実した6年間だったと思います。

6年生で最後の駅伝大会。ちょっとでもいい、歩いてでもいいからと、学4全員に参加してもらいました。協力のおかげで、全員参加を実現。商品をごそぎいただいたのもよく覚えております。

現役の諸君にお願いしたいことは、大きな試合
遠征の案内、行事に出席下さったOBへのお礼状
など、連絡をできるだけ密にとって下さい。
私は大変忙しい毎日です。が、バレー部のこの
とはOBとして気にかけているものです。デンタル
の優勝カップで飲んだビールは大変おいしかった
ことでしょう！！
せっかくなので勝ち取ったんだから他大学に渡すことな
なく、キープし続けて下さい。部員数が少なくても
かたいへんでしょうが、勉強にバレーに悔い
のない6年間を過ごして、いい思い出と友達を
たくさん作って下さい。

4 産業医科大学 歯科口腔外科
全身の一分科としての歯科、有病者の全身管理
を勉強したいと思いましたが。母校では甘えが
と考へ、あえて外へ出て産医大の歯科口腔外科
入局しました。手前味噌ですが、それこそおし
こに血が混じるくらい勉強しました。開業には若
干遠回りでしたが、全身管理、有病者の歯科治
医科の知識習得などいい経験をさせてもらいま
した。
そのとき教わったのは、「目の前の患者さんが一
番の教科書である。」ということです。本を100回
読むのも大切なことです。でも目の前の患者さん
から学ぶことはたくさんあります。成功したケー
スよりの勉強になります。勉強にむかひなかつた
そこの者が、勉強にむかひなかつたケースの検
術で、よく見てそのワザを盗んで下さい。メスの
で、角度、引く方向、縫合の針の通し方...。
ある時、がん末期の、内科からの患者さんを担
当しました。手の施しようがなく歯科での治療
が総義歯を作りました。治療がすべて終わって、
義歯をお迎えを待つご僅かの間のことです。そ
の患者さんは車いすに座って、じっとこちらを見
て、なんと私に向かかって手を合わせているので
す。まるで、仏様に手を合わせるかのようにした。
患者さんは恐らく自分の病状を感じ取っていて
「先生、今生のお別れです。先生が作ってくれた
義歯があるの、三途の川を渡る時にもこれで恥
ずかしくありません。先生ありがとう、先生お
達者で。さようなら。」という意味だったと思いま

す。その時です！「口腔外科医の三宅でなく、歯医者三宅で頑張ろう」と思ったのは！！



5 開業
昭和59年11月に開業しました。



北九州歯学研究会では鍛われ、特にS先生には優しくガンガン指導していただきました。また故筒井昌秀先生と照子先生ご夫婦には大変お世話に丁寧になっていきます。歯科の楽しさ厳しさ奥深さを親切丁寧に教えていただきました。

あるとき冗談半分に「先生一番お隣のアンドロメダ銀河からでも光で何百万年もかかるんですよ。それに比べたら、バイトが1ミリ違っててもどうってことないですよねえ。」そしたら「このばかたれが。」と筒井先生。それ以来「百万光年の男！」と言われています。(現在では230万光年が定説です) 私が今あるのは筒井ご夫妻のおかげだと心から感謝しています。

ということで、福岡県歯広報誌「歯界時報」の天文座談会に、4人のメンバーの一人として、昨年の秋、大いにしゃべりまくってきました。平成22年新年号の特集記事になり巻頭を飾っていただきました。



その続編が再び平成22年5月号に掲載されました。平成21年7月の日食も感動しました。



皆さんご存じのように、6月13日の午後11時に、7年にわたり60億kmの旅から「はやぶさ」がやっと帰ってきました。さまざまな危機的状況に乗

り越え、満身創痍の身で、自分を犠牲にしてカプセルを地球に持ち帰ったその姿に大きく心を動かされました。20億 km かなたの小惑星「イトカワ」の砂粒の採取に成功しているならば、我々の太陽系の起源が明らかになるかもしれません。(ちなみに太陽から地球までの距離は約 1 億 5,000 万 km です。)

6 これからの歯科界を担う若い皆さんへ
6 - 1 「**歯科医師として一番大切なものは何ですか？**」
私が学生時代に体育科の山本元教授が OB に行っただアアンケートです。
さて、どんな答えが最も多かったと思いますか？

その答えの第 1 位が「健康」でした。
えー、うっそー。学力やろー技術やろー。
当時は、私もそう思っていました。でも今は私も健康が一番だと思います。まさに「若者よ。体を鍛えておけ！」です。

6 - 2 「**歯科は全身の一分科です**」
私の仲人をして下さった、口腔外科の梶山元教授はこう言われていました。
「NHK の『今日の健康』という本を読みよーとぞうっそー「ハリソンの内科書」やろー。でも、「今日の健康」の内容は馬鹿にならんし素人に向けてわかりやすく書いてあるので、Introduction にはいい本です。私も実行しています。もちろん詳しくは専門書が必要です。
きちんとした知識の習得と、医科の先生に的確な情報提供を心掛けて下さい。
きちんとした添書を書けば、きちんとした添書が医科の先生から返ってきます。

6 - 3 「**歯学部に入ってよかった：79%**(リーフの会だより、Vol.10 2010)」: 嬉しい数字です。この世界、厳しいことだけではありません。「歯学部に入って良かった。歯医者になって良かった。」と思えることは、私の日常臨床でも、いろいろあります。これからは皆さん方も見つけて下さい。「**プラス思考**」でいけば、道はおのずから開けて

きます。こんなことができる。自分でもできるよう
歯科でこんなことができる。自分でもできるよう
になりたい... ..
「**歯科のロマン**」を常に持ち続けて下さい。

6 - 4 「**大学とは人から習うところではなく、
自分で勉強するところ**」だと思います。
基礎と臨床のリンクを常に意識して下さい。(特に解剖、組織、病理...)
今はインターネットが普及しとても恵まれた環境にあると思います。(ただし、ガセネタに注意!)
アンチョコに得た知識はアンチョコな結果しか
生みませせん。
「**要領がいい**」と「**手抜き**」は違います。

6 - 5 「**いい友達、いい先輩、いい後輩、そしていい目標の人を**」
「**親しき仲にも礼儀あり**」「**酒は飲んでも、酒に飲
まれない**」
「**我れ以外、皆、我が師**」(吉川英治)です。
ほんとそう思います。

6 - 4 自分が九州歯科大学、特にバレー部で
学んだこと
「**一人はみんなのために。みんなは一人のため
に。**」という、チームプレーの精神だと思います。
開業して国一城の主になって、チームプレーの大切さを毎日、切々と実感しています。
私にいろいろなことを教えてくれた、九州歯科大学、そしてバレー部、そして家族、ありがとう!!



「**四男の七五三のお祝い(平成11年)**」

駄文と、とりとめのない私のお話到最后までお付き合い下さってありがとうございました。

今日、ここにお集まりの皆さんの、ますますのご発展をお祈り申し上げます。
(バレー部OB会誌の原稿をもとに、許可を得て加筆改変し、転載しています)

お話をさせていただく機会を与えて下さり、どうもありがとうございました。